

国労東日本 第31回定期大会開催!

JRおよび関連労働者の組織化と労働条件の改善を一体のものとして

全力で取り組もう!



(組合員の購読料は組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5 交通ビル
国労東日本本部
発行責任者 大沼 元
編集責任者 樋口孝重

No. 796 定価 20円

2017年

9月11日

第31回定期大会 特集号その1



QRコードからでも閲覧できます

<http://www.e-nru.com/>

国労東日本本部は、8月25日～26日に第31回定期大会を東京都田町において開催しました。

大会は代議員の真摯な討論から、運動方針と「労働条件に関する協約」改訂要求を確立し、役員改選では、大沼元新委員長以下、新執行部(別掲)を選出し、「大会宣言」と「特別決議」を採択し、終了しました。

今号は、大会特集号【その1】として報告します。



議長 盛岡地本 菊池代議員
副議長 東京地本 岩田代議員

大会は、宮崎副委員長の司会で始まり、議長に菊池代議員(盛岡)、副議長に岩田代議員(東京・神奈川地区本部)を選出し、議事に入りました。

開会にあたり菊池委員長は4点について挨拶をしました。その後、来賓挨拶、弁護団報告、国労本部からの挨拶を受けて

議題に入りました。経過報告では5名の代議員から発言を受け、答弁・承認を頂きました。その後に関係紙及び組織拡大標準語の表彰を行い、一日目の議事を終了しました。

二日目は、運動方針(案)に対する18名の代議員発言を踏まえ、佐藤書記長より集約がされ、全体の拍手で承認されました。その後、役員改選では大沼新委員長を選出し、全代議員の満票でスト権を確立。その後には大会宣言(案)と「安本法制廃止、原発再稼働反対、労働法制改悪反対、憲法改

悪を許さず平和と民主主義を守る」特別決議(案)を採択しました。最後に大沼新委員長の団結がんばろうで大会を終りました。



委員長挨拶要旨

(全文はHPに掲載)
全ての取り組みの集約点は組織拡大

一点目は、政治課題についてです。

私たちは、安倍政権の暴走政治に終止符を打つためにも、一昨年前の参議院選、そして仙台市長選で結果を出した野党共闘をさらに発展させ、改憲発動を阻止する「3分の2の勢力割れ」を何としても実現させていかなければなりません。

また、秋に召集される臨時国会では、働き方改革実現会議がまとめた長時間労働の是正や同一労働同一賃金などを盛り込んだ「実行計画」を立法化する「働き方改革関連法」と「労働基準法改正」などの労働法制の改悪への動きも加速しています。

私たちは、安倍政権が目指す「戦争の出来る国造り」「世界で一番企業が活躍しやすい国造り」の政策に対し、全労働者を巻き込んだ大衆運動の強化で反撃していかねばなりません。

二つ目は、原発事故に起因した現状についてです。東日本大震災及び東京電力福島第一原発事故から6年5カ月が過ぎました。東日本大震災からの復興は、歩みは遅いにせよ着実に進んでいます。しかし、原発事故による復旧・復興は遅々として進んでいません。

私たちは、鉄道の復旧作業において安全・安心を担保に鉄道マンとしての使命を果たしつつも、東京電力福島第一原発事故を風化させることなく、現状を全国に発信していかねばなりません。改めて原発再稼働を許さず、脱原発、再生可能エネルギーへの政策転換を求める運動を強めなければ

なりません。

三つ目は、私たち国労の喫緊の課題である組織拡大についてです。日常の努力や組合員の意識を組織的なものにするためにも分会や班を如何に整備し、活性化するか、組織拡大の結果にこだわるために各級機関役員が目色を変えて取り組むかが問われています。

東日本本部は、「組織拡大」の取り組みが、組織の存亡をかけた取り組みであるとの認識で、これまで以上に地方本部を動かし、分会を動かす、そして結果は、班・分会が作り出す、そんな組織的な取り組みに全力をあげていく決意です。

組合員、各々が置かれている環境や条件の違いはあるでしょう。しかし、環境や条件を言い訳にせず、決して「焦らず」、「あきらめず」、そして、粘り強く、結果にこだわる組織拡大の取り組みを全職場から展開していきたいと思えます。

四つ目は、労働条件改善の闘いと安全安定輸送確立、そして生活の足を守る課題についてです。労働条件改善の取り組みは、JRグループで働く労働者全体の「底上げ」という観点で、関連労働者の労働条件引上げという課題も国労として負っていることも事実です。関連労働者の組織化の取り組みと合わせて国労全体で労働条件の底上げを目指す取り組みを進めていかなければなりません。

職場で目に見える国労らしい運動を展開し、組織拡大につなげる、「全ての取り組みの集約点は組織拡大だ」ということを合言葉に、向こう一年間、全組合員の奮闘を要請するとともに、東日本本部執行委員会

がその先頭に立って奮闘する決意を申し上げて挨拶とします。

退任役員・ごくろうさまでした



菊池 忠志 執行委員長
2015年・第29回定期大会から執行委員長を1期2年歴任致しました。

宮崎 浩則 執行副委員長

2013年・第27回定期大会から執行副委員長を2期4年歴任致しました。



佐藤 正幸 書記長

2009年・第23回定期大会から執行副委員長を2期4年、2013年・第27回定期大会から書記長を2期4年歴任致しました。



武笠 秀也 執行委員

2007年・第21回定期大会で執行委員に選出。5期10年、調査、業務、教宣関係の任務に携わりました。



東平 賢一 会計監査員

2009年・第23回定期大会から会計監査員を4期8年歴任致しました。



伊藤 隆夫
書記長



矢部 雄一
執行副委員長



大沼 元
執行委員長



塩澤 富世
会計監査員



彦田 貴弘
執行委員



本間 誠
執行委員

新執行部
よろしく
お願い致します

再選役員

【会計監査員】 【執行委員】

照井 幸男 稀原 直 渡辺 信之 樋口 孝重 武田 幸喜

第10回組織拡大標語優秀作品

【最優秀】

仲間の信頼 力に変えて
さあ踏みだそう 組織の拡大へ

東京 / 内記 大輔

【優秀】

- 一人一人の行動が組織を動かす大きな力に 長野 / 中島 大希
- いつも笑顔で 声かけ続け 信頼つくって拡大へ 東京 / 矢部 雄一
- つながり絆 築こう仲間 深める信頼! 国労魂 秋田 / 加賀谷 靖
- 拡大が 要求勝ち取る大きな力! 秋田 / 村越 淳

機関紙表彰

	紙名	号数	地本	発行機関
最優秀表彰	分会通信	500号達成	仙台	貨物分会
	車体分会	500号達成	仙台	車体分会
	支部情報	97	秋田	秋田総合車両センター支部
	郡工情報	52	仙台	郡山工場支部
	分会通信	64	仙台	貨物分会
	かもつ分会ニュース	92	水戸	貨物分会
	連結器	61	東京	田町電車区分会
	スクラム	51	長野	長野総合車両所支部共同デスク
優秀表彰	団結	32	仙台	仙台総合車両所支部
	国鉄新潟	33	新潟	新潟地方本部
	国労高崎	33	高崎	高崎地方本部
	蘇我運輸区分会ニュース	42	千葉	蘇我運輸区分会
	国労なかでん	30	東京	中野電車区分会

東日本本部委員 定数16名

盛岡地本	秋田地本
仙台地本	宇佐美久蔵
新潟地本	田崎 秋弘
高崎地本	高橋 進
水戸地本	武田 昌仙
千葉地本	清野 聡
長野地本	清水 伸晃
東京地本	泉 秀俊
	北嶋 利則
	宮本 充
	岸本 靖夫
	丸山 淳一
	岩田 智
	粉川 洋
	小宮山 浩雄
	青木 久



アフラック 最新のがん保険、新登場。

アベニール株式会社
TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

来賓

【関東交運労協】 滝沢武宏 議長
【全国交運共済】 松井正義 本部長
【東日本事業本部】 橋本昭二 副本部長
【国鉄労働会館】 伊藤秀樹 専務理事
【国労本部】 佐々木隆一 副委員長
【東日本本部】 海渡雄一 弁護士
【顧問弁護団】 福田 護 弁護士

国労北海道本部 国労東海本部
国労西日本本部 国労四国本部
国労九州本部 JRイーストユニオン